

世界3大健康野菜で中山間地域の農業を活性化

平成30年地域政策研究センター地域協働研究【ステージⅠ】採択課題

課題名：岩手県の中山間地域における農業を核とした地域活性化の取組と今後の展開
～釜石市橋野地区等を事例として～

研究代表者：総合政策学部 教授 吉野英岐

研究メンバー：村瀬勝洋（岩手県農林水産部農村計画課調査課長）、佐藤桂祐（同主査）

キーワード：中山間地域・農業活性化・世界3大健康野菜・梅

▼研究の概要（背景・目標）

岩手県の典型的な中山間地である釜石市橋野地区は、人口の減少や高齢化に加えて、災害の影響で地域の農産物直売所の来場者や販売額が減少していた。本研究では学生のアイデアや実践を取り入れ、橋野鉄鉱山世界遺産やラグビーワールドカップ2019の開催に関連させて、直売所と地域の活性化を目指した。その結果、世界3大健康野菜の生産販売、直売所のシンボルである水車の活用、栽培が始まった梅の木を生かした梅の里構想の実現が提案された。

▼研究の内容（方法・経過）

現地調査・ワークショップとして2018年9月20～21日に学生約10名が現地で活動を行った。さらに直売所の水車祭りにあわせて、11月3日～4日に商品のPOP作り、水車の清掃、イベント支援を行った。それらの活動を通じて課題を抽出し、アイデアをまとめ、県外の先進事例の視察結果も参考にして、3月4日に県、釜石市、地元生産者に向けた現地成果報告会を開催した。

提案1 世界3大健康野菜と水車を生かした農産物直売所の活性化

水車祭りにぎわい



(1) 世界3大健康野菜

世界3大健康野菜とは菊芋、ヤーコン、アピオスで、これらはすべて橋野で栽培実績がある農産品である。特に菊芋は盛んに栽培され、販売先も確保している。今後はこれらの加工開発とともに、世界遺産やラグビーワールドカップに関連させた情報発信が必要である。

学生によるポップ

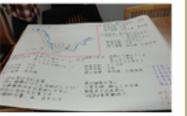


(2) 水車を生かしたイベント運営

水車祭りというネーミングを生かして、美しい水車あつての水車祭りという意識を徹底させて、水車を生かした祭りメニューの開発に一層取り組んでいくことが望まれる。そのために水車の展示や実演のためのボランティアスタッフを確保し、一方で地元郷土芸能の実演など釜石市の他の地区との差異化と連携や共同企画も視野にいれていくべきである。

提案2 梅の木を生かした梅の里構想の実現

作成した梅MAP



(1) 梅の栽培の継続

栽培が始まった梅の木の育成に力を入れて、肥培管理を徹底して、梅の木の生育をはかり、今後必ず梅の実が収穫できるところまでこぎつけることが大事である。梅の実が収穫できたときには梅酒用の出荷、梅カクテル・梅ゼリーなどの加工販売など、梅を生かした商品開発が考えられる。

手入れされた景観



(2) 梅の回廊構想の実現

橋野には石組み水田、古民家、神社等が点在し、美しい景観がひろがっている。またラグビースタジアムのある鶏住居地区から世界遺産への移動ルートでもある。将来は梅園をいかした景観づくりと見学路を整備し、世界遺産へ通じる梅の玄関口と回廊の形成が可能である。

▼おわりに（まとめ・今後の展開）

1. 世界3大野菜、梅、桑茶などこれまでにない農産物の生産と加工商品の開発
2. 世界遺産とローカルな良さがあわさって、インバウンドにも対応できる魅力ある地域づくりの推進

【謝辞】 調査研究にご協力いただいた橋野地区の方々と関係機関の皆様には謝意を表します。